

これまでケーブルからローカルな話題や
エリア情報などをお届けします



下北山村の小さな旅 I 明神池ウォーキング



下北山村の明神池は、周遊約1kmの奈良県内で最も大きな天然池。
いろんな伝説や七不思議などが伝わるロマンチックな池としても知られて
います。畔に建つ池神社のご神体とも云われる池の周辺は、すがすがし
い気が満ちるとっても気持ちのいい場所。神秘的池にまつわるおはなしを、
村のホームページなどで読んでから散策するのがオススメです。

展望所からは大台ヶ原の
山々も望めます！

明神池 池神社
奈良県吉野郡下北山村池峰1

少し足をのびせぼこんなところも...

明神池 → BIYORI 5km弱

明神池周遊
湖畔コース 約 1 km 約15~20分
稜線コース 約2.6km 約30~40分



マキビトcafe

奈良県吉野郡下北山村寺垣内351
080-5989-4073
<https://onogurashi.localinfo.jp/>

営業については
オノ暮らし @onogurashi で検索

一棟貸しのお宿「山の家 晴々 - haru ∞ baru -」を営む移住者
のご夫婦が、去年の秋、約2年かけて完全セルフビルドしたカフェを
始めました。地産の食材を使った食事や、自作の石窯で焼くピザ、
自家焙煎のコーヒーなどを提供。週に数回の通常営業と不定期の
イベントでオープンしています。川のせせらぎが聞こえ、風が心地よく
感じられる素敵な場所です。下北山村の四季をお楽しみください。



素朴な菓子パンや
惣菜パンが並ぶ
村唯一のパン屋さん

コワーキングスペース
SHIMOKITAYAMA BIYORI
下北山村でリモートワークしませんか？
500円 / 1日
お問い合わせは
下北山村地域創生推進室まで！
07468-6-0001
kikaku@vill.shimokitayama.lg.jp

～下北山村の暮らしと関わりを届けるwebサイト「きなりと」～
<https://kinarito.net/> 滝のドローン映像が見られます

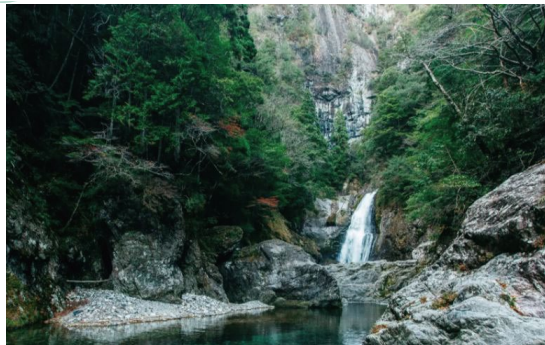
下北山村の小さな旅 II 前鬼・不動七重の滝

総落差160mに及ぶダイナミックな滝で「日本の滝百選」にも選ばれる名瀑を、車を降りてすぐの展望所から見る事ができます。国道169号線の「前鬼口」から林道に入って約6キロ進んだところに「前鬼不動七重の滝 森林浴歩道」の看板があり、そこを100m進むと、ガードレール越しに7段目の滝と美しい渓流が望めるビューポイントが。さらに、600m進んだ所に展望所があります。ここから見える滝は、3段目と6段目の滝。圧倒的な水量とスケールの大きさを誇るその雄大さ、荘厳さは、はるか遠くに見える滝でも充分感じる事ができるはずです。



P5台ほどの駐車スペースがある展望所から見える滝。さらに100m進みトンネルを抜けた地点にも、3段目の「大滝」を斜め横から望むスポットがあります。

時間が許せば、ぜひ滝を間近に見ることができる遊歩道へ。行き50分 + 帰り50分。

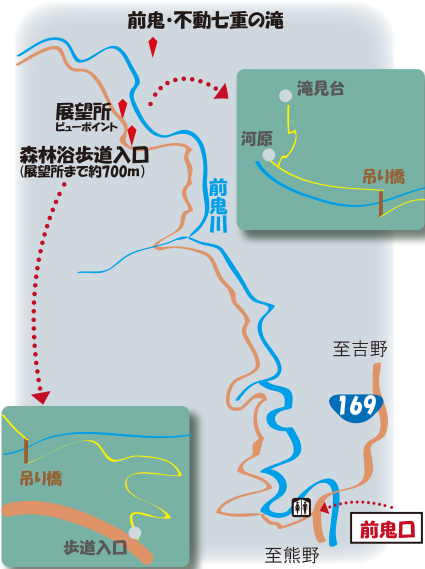


河原の終点から眺める七段目の滝



森林浴歩道入口 P2台

岩場など滑りやすい場所もあるので、必ず歩きやすい靴・服装で楽しんでください。



不動七重の滝へのコースタイム

国道169号線「前鬼口」(標高約300m)

↓ 林道で6km: 車15分/徒歩約1時間50分

↑ 林道: 車15分/徒歩約1時間半

▼「前鬼・不動七重の滝 森林浴歩道」入口(標高約400m)

↓ 急坂を下る: 徒歩約15分

↑ 急坂を登る: 徒歩約25分

▼吊り橋(標高約300m)

↓ 河原を渡る 300m: 徒歩約15分

↑ 河原を下る: 徒歩約15分

▼アルミ階段登り口(標高約300m)

↓ 階段を登る 900段: 徒歩約20分

↑ 階段を下る: 徒歩約10分

▼滝見台(標高約350m)

吊り橋を渡り林を抜けると
目の前は神秘的な岩と清流



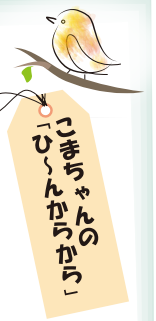
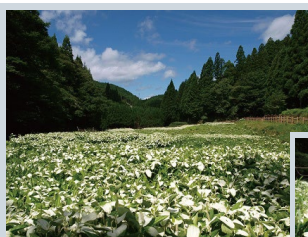
見えるのは3段目の大滝(落差80m)
水しぶきと爆音、晴れた日は虹がかかり
眼下にはエメラルドグリーンの滝壺が!

耳を澄ますと、川のせせらぎや風の音
鳥やかじか、動物の鳴き声
川魚、小鳥の水浴び...
いろんな自然と出会えるかも

御杖村の半夏生園

七十二候のひとつ半夏生(ハンゲショウ)。今年は七月二日です。その頃に花を咲かせる同じ名前前のドクダミ科の植物の群生が、御杖村の岡田の谷の半夏生園で見られます。初めて見る風景なのに、なぜか小さい頃に見た懐かしい景色のような、静寂が広がる異空間のような、そう思わせる不思議な場所です。昨年放映された某番組で、奈良の映像作家が、ネムノキの花が半夏生に落ちる様子を「おしろいにさす紅の刷毛」に例えていました。

半夏生が半化粧とも言われる所以ですね。白い絨毯の奥には、たしかにネムノキが一本あって、フワフワした淡い紅色の花を咲かせていました。ここから三重方面へ向かうと、新鮮野菜が評判の道の駅や、道中には美味しいピザを食べさせてくれるお店もあります。御杖への小さな旅、機会があればぜひ! μ



ネムノキの花

